



新橋小学校

学校だより

令和3年6月30日
令和3年度 第4号

心を動かし、世界を広げよう

校長 樋渡 典子

梅雨の晴れ間にのぞく太陽の日差しが強く、本格的な夏の到来を感じさせます。

6月25日（金）の授業参観には、ご多用な中、ご参観いただきありがとうございます。前回、教室での授業参観を行ったのは、令和2年1月になります。昨年度は計画しては中止・・・の連続になり、1度も実施することができませんでした。1年5か月ぶりの授業参観・・・感染症防止のためAB半分に分けての参観でしたが、廊下や教室でお子様の様子を見守るみなさまの姿に、感無量でした。今後も、感染状況を注視しながら、可能な範囲で教育活動を公開していきます。子どもたちが頑張る姿を、認め、励ましてください。

数年前から梅の実をいただく機会があり、毎年楽しく梅の実にかかわっています。それ以前から梅酒は作っていたのですが、小梅で作るカリカリ梅、梅シロップ、昨年は梅干し（干しました！）にも挑戦、レポートリーが増えました。雨が続き苦手だった季節でしたが、梅とかかわれる楽しい季節になりました。今年は職員玄関前の梅の実が豊作なので、栄養士の金子澄江先生と協力し、学校の梅を給食で活用しようと計画中です。子育て真最中の時期は、手間暇かかる料理をすることもなく、時間に追われ家事をこなしていました。子育てが一段落し、家庭での時間に少しゆとりが生まれたことと、さまざまな食材を手にする機会が増えたことから、興味・関心が食育（大袈裟ですが・・・）に向くようになりました。渋柿を手に入れば渋抜き方法を調べ、堀りたてタケノコを手に入ればゆで方を調べました。タケノコを使った料理の種類も増えました。畑を眺めながら考えること、道の駅で真っ先に向かう売り場、家にある調味料・・・気づけば日常生活のあちこちで変わってきた自分があります。興味・関心の高まり、意欲の向上が、自分の世界を広げてくれている・・・と改めて感じています。学習も同じです。子どもたちが課題に向き合う時の「知りたい」「おもしろい」「どうしたらいいのだろう」という心の動きが追及するエネルギーになります。そのエネルギーが学ぶ意欲を高めたり粘り強く取り組んだりすることにつながり、子どもたちの世界が広がっていくのでしょうか。意欲的に課題を追求し、自分の成長を感じたり世界を広げたりする姿を目指して、日々の教育活動に努めます。

6月、5年生が校内の田んぼで「代掻き」「田植え」を行いました。どろどろの中に歓声を挙げながら裸足で入る子どもたち、その姿を見守るのは担任だけでなく、地域の米作り指導者のみなさまです。穏やかな笑顔で見守ってくださっています。4年前「新橋小の子どもたちに米作りを学んでほしい」という思いから、水が漏れないような田んぼに改修し、排水設備も整えてくださいました。5年生の子どもたちは「稲作」や「地域の方」との出会いを通して何を考えるのでしょうか。何に心が動くのでしょうか。子どもたちの未来を思い、ワクワクしています。

